

平成 28 年 12 月 7 日

保護者・地域の皆様

横浜市立岸谷小学校  
校長 大島 宏二

## 岸谷小学校における全国学力・学習状況調査の結果分析及び課題、改善の手立てについて ～平成 28 年度全国学力・学習状況調査結果より～

- ◆成果 算数の活用する力の向上
- ◆課題 国語・算数の基礎的な知識の定着

義務教育の機会均等とその水準維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育活動にいかすことを目的とし、全国学力・学習状況調査が行われています。その結果から本校の学習状況と今後の取組についてお知らせいたします。

### 1 調査結果

	本校 正答率 (%)	横浜市 (公立) 正答率 (%)	全国 (公立) 正答率 (%)
国語 (A) (主として知識)	67	72	73
国語 (B) (主として活用)	56	60	58
算数 (A) (主として知識)	74	79	78
算数 (B) (主として活用)	49	49	47

### 2 調査結果の分析

国語の正答率について、主として知識を問う問題 (A)、主として活用を問う問題 (B) とともに全国、横浜市の正答率より下回っています。算数の正答率について、主として知識を問う問題 (A) は全国、横浜市より下回っています。主として活用を問う問題 (B) は全国より上回っています。

	よい状況と考えられる点	改善が必要とされる点
国語	◎「書くこと」の領域に関する問題において、書き手の表現の仕方をよりよくする工夫について考えることや、目的や意図に応じて、書く事柄を整理することができていました。 ◎「読むこと」の領域に関する問題において、目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読んだり、目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫したりすることができていました。	▲「言語についての知識・理解・技能」の観点については、漢字を正しく読むこと、正しく書くことに課題があります。 ▲「話すこと」の領域に関する問題において、目的に応じて、質問したいことを整理する、質問の意図を捉える、話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問することに課題があります。
算数	◎「数量関係」の領域に関する問題において、示された事柄について、二つの表を基に読み取ることができない事柄を特定することができ、グラフを読み取り、それを根拠に示された事柄が正しくない理由を記述することができていました。 ◎「数と計算」の領域に関する問題において、示された式の中の数値の意味を解釈し、記述できました。	▲「図形」の領域に関する問題において、図形の構成要素に着目して、図形を構成することや直方体における面と面の位置関係の理解に課題があります。 ▲「量と測定」の領域に関する問題において、単位量当たりの大きさの求め方の理解や、三角形の底辺と高さの関係についての理解に課題があります。

学習意識等	多くの児童が国語や算数の学習について大切だと考えていたり、将来社会に出たときに役に立つと考えていたり肯定的なとらえ方をしています。
	・「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役立つと思いますか。」 当てはまる・どちらかと言えば当てはまると回答した児童 86.3%
	・「算数の勉強は大切だと思いますか。」 当てはまる・どちらかと言えば当てはまると回答した児童 89.1%

### 3 今後の取組

**＜学力向上アクションプランの継続＞**  
 ◇資質・能力を育成する授業  
 ◇学習の習慣化

#### ◇資質・能力を育成する授業

指導の在り方、授業の在り方について教師一人ひとりが授業実践をする中で振り返り、自己の課題を分析し、課題を解決していくことや、資質・能力を育成する授業を目指し、授業改善を図っています。

##### ○主体的な学びを支える基礎的・基本的な知識・技能の定着

- ・音読、漢字、計算の継続
- ・各学年の段階に応じた話型の掲示
- ・ノートのまとめ方指導

##### ○主体的、対話的な学習・教科で大切にしたい見方、考え方を深める学習

- ・問題を見出し解決していく中で、解決方法を話し合ったり振り返ったりすることを通し、教科で大切にしたい見方や考え方を深める学習



#### ◇学習の習慣化

##### ○スキルタイム・読書タイムの拡充

- ・週3日朝の時間にスキルと読書の時間を設定

##### ○岸谷SR（スタディールーム）

- ・週1時間の取り出し個別・グループ指導と4年6年の少人数算数指導

##### ○家庭学習

- ・学年の段階に応じた家庭学習（プリント、ドリル等）の継続



朝のスキル・読書タイム



岸谷SR 4年算数



家庭学習プリント

しっかりとした学力を身に付けるために、規則正しい健康な生活習慣は欠かせません。ご家庭におかれましても、次の点についてお子様とお話いただきながら、よりよい生活習慣が身に付けられるようご協力いただきたく思います。

- 朝食を毎日食べる。（1日元気に過ごすためのスタートは朝食）
- 早寝、早起きをする。（生活のリズムは睡眠リズムから）
- 家族といろいろな会話をする。（楽しい会話から心豊かに）
- 宿題を毎日する。（家庭での学習の習慣化）